

第 185 回 戦後アフリカ史①

1 戦後アフリカ史の概観

- ・アフリカでは、1950年代の後半から、多くの国が独立を果たすようになった。
→特に（ ）年には、一度に（ ）もの独立国が誕生した。
※この年は、「 」とよばれた。

- ・1963年、アフリカ諸国首脳会議が開かれ、アフリカ統一機構憲章を調印した。
→アフリカ諸国の連帯をめざし、（ ）が発足した。
→2002年、これを発展させて（ ）が発足した。
- ・発展途上国の開発のため（ ）が設立された。
→しかし相次ぐ内戦、（ ）の蔓延、飢餓、低い水準の教育や医療、砂漠化、（ ）など、現在も多くの課題をかかえている。



デュボイス

アメリカの黒人解放運動指導者で、1919年にパリでパン=アフリカ会議を開催した。これはパン=アフリカニズムというアフリカの独立と統一を目指す運動になった。



アフリカ統一機構の集合写真

会議はエチオピアのアディスアベバで開かれた。1963年当時の首脳が記念写真を撮っている。現在はアフリカ連合(AU)へと発展し、アフリカの全ての国が加盟している。



国境なき医師団

1971年にフランス人の医師たちによって作られた。紛争地や難民キャンプなどで活動を行い、1999年にノーベル平和賞。

2 北アフリカ諸国

- ・北アフリカは、地理的に近いフランスとイタリアの植民地が多かった。
- ・1956年、（ ）と（ ）がフランスから独立した。

☆（ ）（1962～2024年現在）

- ・フランス領のアルジェリアでは、独立を目指す（ ）による武装抵抗が激化して多大な犠牲者を出していた（アルジェリア戦争）。
→この結果フランスでは政治が混乱し、1958年、第五共和政が成立した。
→1962年、エヴィアン協定でアルジェリアの独立が承認された。



カダフィ大佐クーデタを起こし、弱冠 27 歳で独裁者となった。砂漠の狂犬と呼ばれアメリカとも激しく対立したが、衰れ最期となった。

☆（ ）（1951～1969年革命～2011年革命～2024年現在）

- ・イタリアの植民地だったが、1951年、王国として独立した。
→1969年、（ ）がクーデタを起こし、独裁者となった。
→長く独裁体制をしいていたが、2011年、リビア騒乱により政権崩壊した。

☆（ ）（1956～2024年現在）

- ・1956年、イギリスとエジプトから独立し、かつてはアフリカ最大の面積を持った。
→長く内戦が続き、2008年からは西部でダルフル紛争も起こった。
- ・2011年、アフリカで最も新しい国である（ ）が独立した。

3 東アフリカ諸国

☆ () (1世紀～1936／1941～1974年帝政廃止～2024年現在)

都…アディスアベバ

◆ () (在位 1930～1935／1941～1974年)

- ・長らく独立を維持していたが、1936年、()によって併合された。
→第二次世界大戦中に独立したが、政治の腐敗と飢餓が深刻化した。
→1974年、エチオピア革命が起き、社会主義政権が成立した。
→分離独立したエリトリアとの国境紛争などで、政権は安定していない。

☆ソマリア (1960～2024年現在)

- ・1960年、イギリスとイタリアから独立したが、1991年、()が始まり無政府状態となった。
- ・2009年、日本の自衛隊など各国の軍がソマリア沖の海賊対策のため派遣された。



エチオピア最後の皇帝。国民が飢餓にあえいでいるのに、ペットのライオンに牛肉を与えていることがばれて、革命が起きた。

ハイレ=セラシエ



ソマリア内戦

日本なら学校に通っている年齢の少年たちが、兵隊として戦わされた。内戦は国の現在だけでなく、未来をも破壊してしまう。



映画『ブラックホークダウン』

ソマリア内戦を描いた作品。ブラックホークとは、アメリカ軍のヘリの名前である。銃器が好きな人にはすごくお勧めの映画ですね。

4 西アフリカ諸国

☆ () (1957～2024年現在)

◆ () (在任 1960～1966年)

- ・1957年、イギリスから独立し、サハラ以南で最初の黒人独立国家となった。
- ・初代大統領のンクルマは、アフリカ統一運動を推進した。



ンクルマ

以前はエンクルマ。パン=アフリカ主義の運動家で、戦後アフリカ史を語る上で欠かせない人物。

☆ () (1958～2024年現在)

- ・1958年、セクトゥーレの指導でフランスから独立した。



ギニアの国旗
アフリカ諸国の国旗には、赤・黄・緑の3色が多く使われている。

☆ () (1960～2024年現在)

- ・1960年、イギリス連邦内の国として独立し、1963年に完全独立を果たした。
→1967年、一部の部族が独立運動を行い()が起こった。

☆ () (1847～2024年現在)

- ・アフリカ初の女性大統領サーリーフが、2011年にノーベル平和賞を受賞した。



セクトゥーレ

フランスへの抵抗運動を行ったサモリトゥーレの血をひく。エンクルマの失脚後は、ギニアの初代大統領として、アフリカ統一運動の中心となった。



サーリーフ

サーリーフは、2006年に選挙で選出され、2017年現在も大統領である。内戦続きだったリベリアの安定に向けて努力している。



We are the world

内戦にともなう飢餓に苦しむアフリカの人々に対して、音楽などを通じて援助する試みも20世紀後半に起こった。